

九州・沖縄地区の6月生コン出荷量（全生連九州地区本部）

前年同月比8.3%減、沖縄県は4.7%増

全国生コンクリート工業組合連合会九州地区本部がまとめた7年度月別・地区別出荷実績によると、6月度は九州・沖縄地区（宮崎県を除く）で前年同月比8.3%減の合計60万4,015m³。

6月度の県別内訳は、「福岡県」が前年同月比10.3%減の20万1,302m³、「佐賀県」同26.1%減の2万1,113m³、「長崎県」同11.2%減の5万2,253m³、「熊本県」同12.7%減の8万8,519m³、「大分県」6.5%減の5万7,835m³、「鹿児島県」同7.4%減の6万8,068m³、「沖縄県」同4.7%増の11万4,925m³。沖縄県が増加している。

7年度累計では、「福岡県」が前年度比10.2%減の62万2,291m³、「佐賀県」同1%減の8万4,649m³、「長崎県」同12%減の16万6,848m³、「熊本県」同5.9%減の30万3,400m³、「大分県」4.5%減の18万9,630m³、「鹿児島県」同11.5%減の21万8,170m³、「沖縄県」同1.7%増の33万8,916m³。沖縄県が好調に推移している。